

反対

決議

志布志市との合併を推進

8月23日開催した大崎町合併問題調査特別委員会において「志布志市との合併を推進する決議案」が審議され、9月12日の本会議において合併問題調査特別委員会委員長（上原正一議員）より志布志市との合併を推進する決議案が提出され、反対討論・賛成討論が行われ賛成10反対5で可決された。

決議

決議とは、議会が行う議会としての機関意志決定のことをいい、法的効果を伴うもの（検査及び監査の請求等）と伴わないものがあり、今回の「志布志市との合併を推進する決議」は、議会自体の内部に関する事柄で、なんら法的効果を持つものではない。

【反対討論】



中山美幸 議員

6月5日提出の大崎町合併問題調査特別委員会の設置を求める提案理由の中で、志布志市との合併を進めるうえで、これからの大崎町のあり方・合併した市町村の調査研究・合併に至っていない市町村の調査研究をすることを委員会の趣旨として特別委員会設置の議案を提案した。委員会でもこれらのことについて、調査研究するよう提案したが、特別委員会の中で調査されず、本決議案

の中で「これから一層の責任ある対応を果たしていかなければならない」の文言について、議会・議員としてどのような責任があるかも明確にされず、おろそか時期尚早であることから反対する。

【賛成討論】



小野 光夫 議員

提案書の中には、事務調査もしなければならぬとの文言もある。確かに合併された市町村は厳しい状況だと議員の皆さんも理解していると思っ

たというところもあると思う。総務省のほうでも合併をしていない市町村に対し聞き取り調査をするということであり、町長が22年の3月までに合併をしたいということを考えるとは早急には間に合わない。近隣町村の結果というのは長いスパンがかかると思われる。10年20年、子や孫の代まで考え判断しなければならぬ。その基準の下で事務調査や研修をたくさんしてきている。ここ決議に当たっては調査研究することは疑問に思う。各議員は相当勉強していると思う。志布志市の議員と話したところ、なかなか合併については厳しいという話をしている。ここで議員の理解を得、一致団結し、住民の大多数の意向である志布志市との合併を早急に決議してほしい。

文 幸木 矢一
広 美 正 哲 正
倉 山 山 迫 原
中 中 栞 後 上